

■ 水ing が、水処理施設のさまざまなデータを集約して一元管理できる情報プラットフォーム「Sustainable Water Cloud® - SWaC®」で、SL-GMS Web/Developer (HTML5) を使って監視画面を開発 高対話性のグラフィックシステム図を比類なく高い性能でブラウザ運用

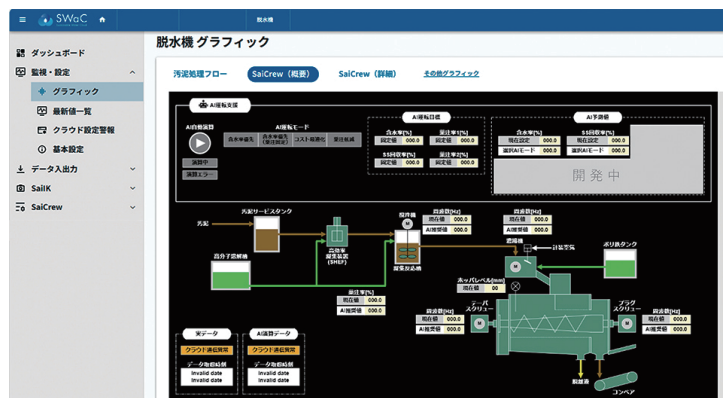
2025年6月17日 ニュースリリースより

SL ジャパンは、水ing 株式会社 (以下、水ing) が、水処理施設のさまざまなデータを集約して活用できる同社の情報プラットフォーム「Sustainable Water Cloud® - SWaC® (スワック)」のグラフィカルに見える化で、SL-GMS Web/Developer (HTML5) を使用していることを発表しました。

クラウド運用の SWaC における施設のグラフィック監視画面は、上部に並ぶタブから「受変電設備」や「給水設備」などのグラフィックシステム図を選択できます。たとえば「給水設備グラフィックシステム図」は、貯留タンク、給水槽、排水ピット、攪拌機 (ミキサー)、パイプなどの動的属性を持った数々の部品で構成されており、運転状況が「運転/開 (赤色)」、「停止/閉 (緑色)」、「異常 (黄色)」で表示されます。これらの動的属性を持ったグラフィック部品は、SL-GMSDraw エディタを使って、アプリケーションから独立して対話的に作成し、その動的振る舞いをすぐにプレビュー確認しながら開発されたものです。

そして、SL-GMSDraw エディタで対話的に作成したこれらのグラフィック監視画面は、SL-GMS Web/Developer のコードジェネレータを使って、比類なくコンパクトで高速な HTML5 コードに変換され、ローカルデスクトップ同等の高い対話性と性能でブラウザ運用できるようになっています。

☆ニュースリリース全文はこちら: https://www.sl-j.co.jp/newsevents/newsrelease/2025/sl_j_news_250617.shtml



(事例より) SWaC® グラフィック監視画面例:
Swing AI Screw Press - SaiCrew® (サイクリー) による脱水機設備系統図

.NET Framework 版 SL-GMS の新バージョン 5.5a をリリース

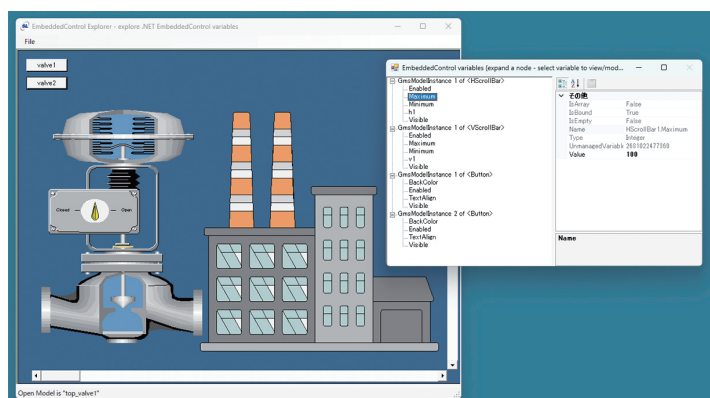
.NET 8 版 SL-GMS .NX への透過的移行と HTML5 版 SL-GMS による Web 運用が可能

2025年8月27日 ニュースリリースより

SL ジャパンは、監視制御システム (DCS/SCADA) のダイナミック GUI/HMI と固有エディタを開発するための専用ツールとして長年の実績を誇る SL-GMS (C++, Java, .NET Framework, HTML5, .NET 8) ラインアップの .NET Framework 版 SL-GMS Developer for .NET の新バージョン 5.5a を、リリースしました。

SL-GMSDraw エディタを使って、制御室のデスクトップ用に開発した比類なくコンパクトで高速な SL-GMS のグラフィック操作画面は、変更することなくリモート運用または SL-GMS Web/Developer で HTML5 に変換して Web 運用でき、ローカル運用と同等の高い対話性と性能を実現します。さらに、SL-GMS Custom Editor for .NET オプション製品を使って、監視制御システム固有のカスタムエディタを容易に構築することができ、開発パートナー、フィールドサポート、ユーザ顧客に提供できます。また、長期サポート (LTS) 版としてリリースされている .NET 8 に対応した SL-GMS .NX へも透過的に移行可能です。

SL-GMS Developer for .NET と Custom Editor for .NET オプション製品新 V5.5a の概要は、☆こちらのニュースリリース全文で: https://www.sl-j.co.jp/newsevents/newsrelease/2025/sl_j_news_250827.shtml

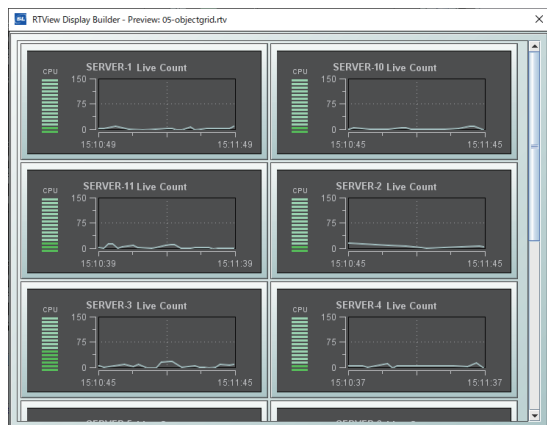


emf 形式のベクター画像 (建屋) を emf2g ツールで SL-GMS のサブモデルに変換してバルブ監視画面に追加した、組み込みコントロールの例

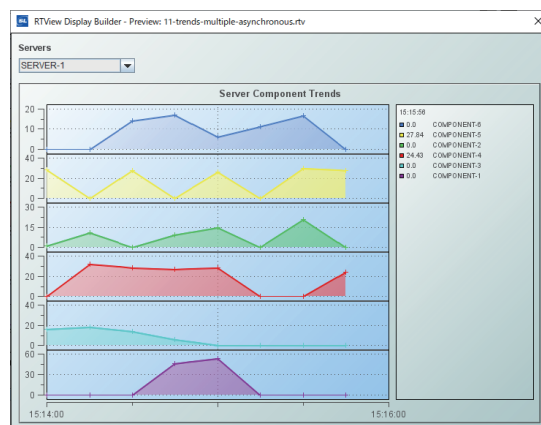
ポイント&クリック操作でリアルタイムなグラフィック監視ダッシュボードを作成してブラウザ運用

RTView のドキュメンテーションサイトには、リリースノートやマニュアルなどの他、さまざまな技術資料とそのサンプルコードがあります。『RTView クックブック(91頁)』は、RTView を使用する上で頻繁に必要とされる課題の解決策を示す 11 の「レシピ」(パターン)が含まれており、サンプルコードとともに多くの「ベストプラクティス」情報を提供しています：

- パターン1「現在値テーブルを1つ作成して表示する」
- パターン2「受信データをフィルタリングしてテーブルに表示する」
- パターン3「現在と履歴データのトレンドグラフを表示する」
- パターン4「同期データの複数トレンドを表示する」
- パターン5「非同期データの複数トレンドを表示する」
- パターン6「棒グラフを表示して値を比較する」
- パターン7「グループの合計値の棒グラフを表示する」
- パターン8「棒グラフをグループごとの平均値で表示する」
- パターン9「スライダー付きのヒートマップを作成する」
- パターン10「複数トレンドのトレンドグラフを表示する」
- パターン11「複数のトレンドチャートを作成する」



パターン5「非同期データの複数トレンドを表示する」より：
複合オブジェクトで構成される画面を複数テーブル表示するグリッドの作成



パターン11「複数のトレンドチャートを作成する」より：
非同期データの複数トレンドグラフを表示する画面を作成

監視制御システムを専門とする SL-GMS ソフトウェアライセンスについて

中央制御室から、Web で遠隔監視、クラウド運用ダッシュボードまでの開発と運用

ライフサイクルが10年前後におよぶ監視制御システムを専門とする SL-GMS は、お客様とのソフトウェアライセンス契約(使用許諾契約)を参照し、個別の「ライセンス許可証」によって、特定の「指定機器」に対してライセンスならびにキーを発行します。

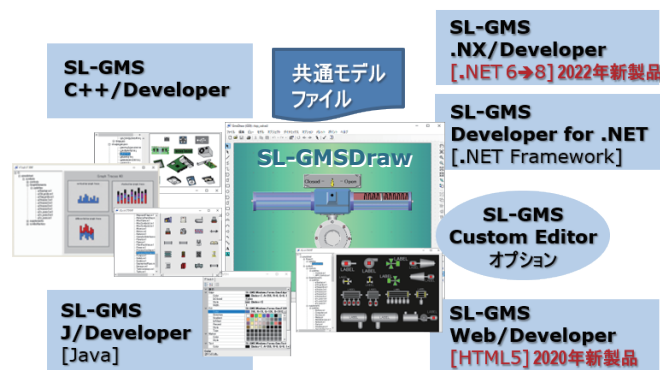
「指定機器」は、SL-GMS のバージョンならびに TSN (メディアシリアル番号)、プラットフォーム (Windows 11, Windows Server 2025, Visual Studio 2022 など) ならびに PIN (プラットフォーム識別番号)、設置場所 (組織名ならびに都道府県市区まで) によるものです。

ライセンスならびにそのライセンスキーは、指定機器の PIN (プラットフォーム識別番号) に対して1つ発行されます：

- PIN は、Windows 版の場合にはダングル (オプション) または標準の NIC (ネットワークインターフェースカード) によって特定されます。
- Linux 版の場合、PIN は NIC によって特定されます。
- Web サーバベース (実行版) の場合には、サーバのドメイン名・ホスト名固有の PIN が発行されます。

※ ダングル (オプション) には、そのライセンスならびにライセンスキーが1対1で付帯しています。
特定マシン (指定機器) に固定される SL-GMS ライセンスのダングルは、10年前後におよぶ連続運転においても安心してお使いいただけるもので、国内で故障の報告はありません。

SL-GMS ラインアップ製品



Real-Time Visibility



株式会社 SL ジャパン

〒107-0061 東京都港区北青山2-12-8 BIZ SMART 青山
Tel. 03-3423-6051 info@sl-j.co.jp www.sl-j.co.jp

年3回発行 2025年9月25日発行 通巻82号

◆記載される会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。
◆記載内容は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。
◆記載事項の一部または全部の無断転載を禁じます。